

平成30年度

事業計画書

公益財団法人 伊賀市文化都市協会

# 平成30年度 公益財団法人 伊賀市文化都市協会事業計画

平成30年度は、「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」（平成24年6月27日施行）が掲げる「心豊かな国民生活及び活力のある地域社会の実現」を目指しながら、「文化がつなぐまちづくり～暮らしの中に文化芸術を～」を基本コンセプトに掲げ、伊賀地域内の関係機関・団体との連携、地域や市民との協働を一層推進しながら、地域における広範な文化的資源や営みの連携・融合等を推進する「文化がつなぐまちづくり」に取り組む。文化ホール、文化財施設等を活用した各種の文化まちづくり事業（自主文化事業）の展開によって、地域住民の教育、芸術文化、体験学習、生涯学習の振興に資するばかりでなく、文化振興を手段とした新しい地域の創造に挑戦する。また、産学官連携による地域産業創造センターの運営を通じ、環境・食・文化等に関する地域産業の振興に資する事業を行い、創造性豊かで潤いと活力に満ちた地域社会の健全な発展に寄与する。

## 1. 公益目的事業

### 【公1】 芸術文化の普及・振興事業

文化活動は生活にゆとりを与え、自分の能力を高めて生き生きと暮らそうという活力の源となる考え方のもと、伊賀市文化会館をはじめとする4つの文化ホールを文化振興拠点として有効に活用。音楽、演劇、講演などの催し、および芸術作品の展示等を通じて、より多くの人々に文化活動の楽しさを伝える。また、芸術文化に携わる団体・個人をはじめとして、地域の観光、産業、住民自治組織などとの連携を一層強化するとともに、地域住民が積極的に参画できる各種事業を推進する。

#### (1) クラシック音楽による音楽文化の創造と定着

- ・文化に対する親しみと理解を一層深めるための事業として、クラシック音楽を中心とした公演を多数開催。協会が志向する「文化がつなぐまちづくり」の基盤事業とする。

■クラシックのいろは2018、第13回さんさんコンサート、第38回新人演奏会 in いが、青山推薦コンサートなど

#### (2) 文化ホール主催公演事業

- ・芸術文化に親しむ機会づくりとして、各ホールの特徴を活かした主催公演を企画。ジャンルや年齢層等を考慮した多彩な公演を実施する。また、平日昼間に限定したイベントにより文化事業への更なる理解と関心を促す。

■伊賀子どもミュージカル、さかなクンのギョギョッとびっくりお魚教室 in 伊賀、東京大衆歌謡楽団コンサート、ブルース伊賀の乱、平日昼間限定コンサート、THE VENTURES JapanTour2018 など

#### (3) 質の高い芸術文化に触れる機会づくり事業

- ・プロによる表現力豊かな公演を通して、芸術を身近に感じ取ってもらう。

■黄昏（演劇）、IMAGINE ONE WORLD「日本の伝統美コレクション in 伊賀」など

#### (4) 人材育成事業

- ・伊賀出身のアーティストや地域で活動する団体の発掘及び活用に努め、芸術文化活動に関わる人材の支援・育成を図る。また、文化芸術の創造機会を提供し、その活動を支援する。

■クラシックのいろは 2018bimonthly コンサート、新人演奏会 in いが (再掲)、青山推薦コンサート (再掲)、新世紀コンサート、ふんとキッズ・アカデミー目指せアーティストなど

(5) 参加型普及事業

- ・地域住民らが積極的、主体的に参画できる場を設け、伝統芸能や伝統文化の育成及び継承を図るとともに、「文化がつなぐまちづくり」への意識を高める。

■伊賀子どもミュージカル (再掲)、伊賀の國バンドフェスティバル、楽器体験シリーズ第6弾「ウクレレ」ワークショップ、地域の音楽家コンサートなど

(6) 市民美術展の開催

- ・市民美術展「市展いが」を伊賀市と共催。伊賀市文化会館での開催2年目を迎え、展示のレベルアップを図るとともに、より多くの出展者・鑑賞者が参加できる内容への充実を図る。

■ウェルカムコンサート、表彰式及び作品講評会、ホールコンサートなど

(7) アウトリーチ等による芸術文化の振興事業

- ・ホールを活用した事業にとどまらず、公の施設、教育機関等、さまざまな場所での音楽鑑賞や演劇、伝統芸能等のアウトリーチ事業に取り組む。

■クラシックのいろは 2018 アウトリーチ、能楽ワークショップなど

(8) 文化ホール ART 活用事業

- ・文化ホールの建物や空間を活用した ART 事業の開催に積極的に取り組み、アート作品の展示や手づくり体験、音楽鑑賞、飲食ブース設置など、複合型の事業を展開し、あらゆる世代に楽しみながら芸術・文化に触れてもらえる機会を提供する。

■ホワイエ・ロビー空間利活用事業、光 ART の Christmas、灯りの幻想夜 (竹灯り 幽玄能) など

(9) 広報及び情報収集事業

- ・広報事業委員の編集による「ふんと通信」(BUNTO NEWS) の発行 (隔月) によって、各種文化情報を発信し、「文化がつなぐまちづくり」への関心を促す。
- ・大型ショッピングセンターなど伊賀地域内の店舗等へのイベント情報誌「BUNTO」(隔月発行)、ポスター、チラシ、ポストカードの配置をはじめ、地区市民センター (各住民自治協議会) の協力を得たチラシ配布、防災行政無線を活用した開催告知、自主制作による「ふんとテレビ」の内容充実などを一層推進する。
- ・文化ホール友の会制度「SaMaZaMa Club」の継続運営と、新規会員の獲得を図る。

(10) 文化ホールの貸室、貸館及び管理運営事業

- ・指定管理者として選定された公の施設等の管理運営及び施設の貸与事業の実施を通して、地域の芸術文化の振興や、教育・福祉の増進に取り組む。

■伊賀市文化会館、ふるさと会館いが、青山ホール、あやま文化センター

## 【公2】 図書館等の運営による社会への貢献に資する事業

図書、記録その他の資料を収集し、市民によりよい読書環境を提供することにより、読書による教養の習得や知識や能力の向上を図るなど社会への貢献に資する事業を行う。

### (1) 読書環境提供事業

- ・伊賀市上野図書館、阿山図書室、大山田図書室及びいがまち図書室の図書及び資料の収集と整理を図り、読書環境の整備に努める。
- ・伊賀市上野図書館を主館とし、阿山図書室、大山田図書室及びいがまち図書室の連携管理を実施し、インターネットや窓口による図書の貸し出しやレファレンス等、統一したサービスの提供を行う。
- ・伊賀市内の図書館及び図書室の図書配送サービスにより相互貸借制度を充実するとともに、伊賀市上野図書館の夜間開館に取り組み、市民の読書推進を図る。

### (2) 読書推進事業

- ・子どもたちへの絵本等の読み聞かせ「おはなしの会」の定期的な開催。
- ・図書館の楽しみ方を紹介する講座や図書館で活躍するボランティアの技術向上と新規ボランティア育成のための講座等を開催。
- ・図書館や書架をライトアップし、温もりのある空間で読書を楽しんでもらう「Night Library」を継続事業とし、音楽の演奏や朗読、紙芝居などを組み合わせた複合型イベントを開催する。

## 【公3】 地域の文化的遺産の保存・振興事業

地域の歴史的遺産や資料を保存管理し、広く観覧等活用を図ることにより、郷土文化の振興や市民の文化力の向上に資する事業を行う。

### (1) 地域の歴史的遺産や資料の保存管理事業

- ・指定管理者として選定された史跡旧崇広堂、旧小田小学校本館、入交家住宅、城之越遺跡、赤井家住宅の適正な管理に努め、歴史的遺産や資料の保存に努める。
- ・旧小田小学校本館において、学校関係資料を収集、整理し、順次公開する。
- ・伊賀市条例に基づき、公益目的に合った施設の貸与を行う。

### (2) 歴史的遺産の周知及び活用事業

- ・市民が気軽に参加できる文化講座等の開催

■ 漢文学教室、初等教育施設企画展 等

- ・モノづくり、伝統文化などの体験型事業の実施

■ おとなの WORK SHOP、雛見茶会 等

- ・文化財施設音楽・演劇鑑賞事業の実施

■ 史跡旧崇広 LIVE2018 JAZZ LIVE、地歌と朗読で綴る「恋物語」竹灯り幽玄コンサート、すうこうどう寄席 等

- ・文化財施設の所在する地域住民との協働事業の実施

■ 城之越遺跡 竹灯り幽玄祭、古代遺跡 de グラウンドゴルフ 等

- ・文化財施設を活用した芸術文化振興事業

■ 光の ART 展Ⅴ、灯りと華のプロムナード actionⅧ (灯りの城下町協働事業)、硝子雛展Ⅲ、手づくりアートのひな人形展 (伊賀上野城下町のおひなさん共催事業)、AKAIKE ART GALLERY、伊賀焼展等 等

#### 【公4】 スポーツ等による生涯学習振興事業

スポーツ、野外活動の普及や知識・教養の習得を図り、市民の体力や運動技術の向上、心身のリフレッシュ、自己実現など生涯学習の推進に資する事業を行う。

##### (1) スポーツ振興事業

- ・ニュースポーツ、レクリエーション紹介事業及び普及活動の実施
- ・体育施設を活用した、心身の健康増進講座の開講

■ ヨーガ、ZUMBA、骨盤矯正ストレッチ、バレトン、トランポリズム、エアロビクス、マットエクササイズ 等

- ・市民のスポーツ参加への導入事業の実施

■ 野球場一般開放 集まれグラウンドゴルフ仲間及び BUNTO 杯

- ・各種競技への参加機会を作るための「きっかけ作り事業」の開催

■ かけっこ教室、ノルディックウォーキング、弓道教室 等

##### (2) 生涯学習施設利活用事業

- ・生涯学習施設等で活動する団体との共同による「モノづくり」体験事業等の開催

■ なつやすみ てづくり体験 ふえすた 等

##### (3) キャンプ施設の有効活用事業

- ・キャンプ場を利用したアウトドア体験事業の実施

■ 親子で楽しむアウトドアクッキング

■ キャンプ場で学ぶ防災対策 ～アウトドアの知識を防災に～

##### (4) 生涯学習振興に係る施設の管理運営事業

- ・指定管理者等として選定された公の施設等の管理運営及び施設の貸与事業の実施

■ 体育施設 25施設

上野運動公園スポーツセンター、上野運動公園競技場、上野運動公園野球場、上野運動公園テニスコート、伊賀上野武道館、上野緑ヶ丘テニスコート、ゆめが丘テニスコート、ゆめが丘多目的広場、大山田 B&G 海洋センター及び艇庫、阿山 B&G 海洋センター及び艇庫、阿山第1運動公園、阿山第2運動公園、青山北部公園運動施設、青山テニスコート、青山グラウンド、島ヶ原グラウンド、しらさぎ運動公園多目的グラウンド・屋外ゲートボール場・管理棟、伊賀市民体育館、伊賀市民弓道場、伊賀市民多目的広場、伊賀市民体育館管理棟

- |            |      |
|------------|------|
| ■生涯学習施設    | 1 施設 |
| 栄楽館        |      |
| ■キャンプ施設    | 1 施設 |
| 岩倉峡公園キャンプ場 |      |

### 【公5】 地域産業及び地域文化力の振興事業

産学官連携による環境・食・文化等に関する共同の研究開発、起業の支援及び地域文化力の向上を通して、地域産業の振興と健全な地域社会づくりに資する事業を行う。

- (1) 地域産業振興等施設貸与事業
  - ・産学官連携地域産業創造センター「ゆめテクノ伊賀」の研究室、インキュベーション室、テクノホール等の適正な貸出及び活用
- (2) 起業家への相談、助言の実施
  - ・起業家に対し、技術開発、知的財産権、経営、マーケティング等に関する相談に応じ、新たな企業の創業を支援する
- (3) 産業振興や地域文化力向上を目的とした主催事業の実施

- |   |
|---|
| ■こども大学 in ゆめテクノ伊賀（夏休み、春休み）、IGA地域情報交流カフェ |
|---|

## 2. 収益事業及びその他事業（公益目的事業以外の事業）

公益目的事業の推進に資するために行う収益事業等

### 【収1】 施設の利用者へ利便を提供する事業

- ・当協会が管理する公の施設等に設置した、自動販売機による飲料水の販売
- ・主催公演等に伴う音楽CD等の物品販売

### 【その他1】 公益目的事業に該当しない施設の貸与

- ・指定管理者として管理運営している施設等の貸与のうち、公益目的事業に該当しない施設の貸与

## 3. 法人管理事業

法人全体を管理統括する事業で、評議員会・理事会に関する事、定款及び諸規程の改廃に関する事、職員の勤務条件及び給与に関する事、予算及び決算に関する事、行政庁に対する定期報告事務に関する事、伊賀市等との連絡調整に関する事等を行う。

平成30年度  
収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	992,000	992,000	0
基本財産受取利息	992,000	992,000	0
特定資産運用益	8,000	8,000	0
特定資産受取利息	8,000	8,000	0
受取会費	850,000	600,000	250,000
会員受取会費	850,000	600,000	250,000
事業収益	463,458,000	475,478,000	△ 12,020,000
受託事業収益	393,323,000	397,701,000	△ 4,378,000
指定管理収益	338,836,000	343,242,000	△ 4,406,000
業務受託収益	54,487,000	54,459,000	28,000
入場料等収益	17,604,000	24,347,000	△ 6,743,000
物品販売等収益	3,025,000	3,057,000	△ 32,000
自動販売機手数料	2,652,000	2,640,000	12,000
物品販売手数料(事業)	248,000	292,000	△ 44,000
物品販売手数料(施設)	125,000	125,000	0
利用料金収入	49,506,000	50,373,000	△ 867,000
受取補助金等	43,685,000	45,358,000	△ 1,673,000
受取地方公共団体補助金	18,479,000	19,246,000	△ 767,000
受取民間補助金	2,500,000	3,406,000	△ 906,000
事業補助金等収入	2,500,000	3,406,000	△ 906,000
受取補助金等振替額	22,706,000	22,706,000	0
雑収益	810,000	3,429,000	△ 2,619,000
受取利息	15,000	15,000	0
指定管理施設収入(事業)	21,000	2,700,000	△ 2,679,000
指定管理施設収入(施設)	354,000	354,000	0
その他施設	420,000	360,000	60,000
<b>経常収益計</b>	<b>509,803,000</b>	<b>525,865,000</b>	<b>△ 16,062,000</b>
(2) 経常費用			
事業費	482,940,000	499,764,000	△ 16,824,000
役員等報酬	2,417,000	2,371,000	46,000
給料	27,572,000	27,013,000	559,000
手当	11,697,000	11,489,000	208,000
退職給付費用	3,319,000	3,583,000	△ 264,000
貸金	129,950,000	130,442,000	△ 492,000
福利厚生費	15,939,000	15,847,000	92,000
諸謝金	9,014,000	10,008,000	△ 994,000
会議費	409,000	386,000	23,000
旅費交通費	745,000	731,000	14,000
通信運搬費	4,335,000	4,164,000	171,000
減価償却費(建物)	21,041,000	21,041,000	0
減価償却費(構築物)	1,659,000	1,659,000	0
減価償却費(什器備品)	6,000	6,000	0
消耗品費	13,592,000	13,031,000	561,000
修繕費	8,444,000	8,670,000	△ 226,000
印刷製本費	10,611,000	10,320,000	291,000
燃料費	3,741,000	3,759,000	△ 18,000
光熱水費	47,694,000	48,932,000	△ 1,238,000
賃借料	8,229,000	8,004,000	225,000
手数料	1,941,000	1,669,000	272,000
租税公課	14,306,000	14,212,000	94,000
支払負担金	167,000	192,000	△ 25,000
賞与引当金繰入額	2,729,000	2,577,000	152,000

(単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較
委託料	134,537,000	150,827,000	△ 16,290,000
広告宣伝料	4,769,000	4,413,000	356,000
保険料	2,296,000	2,230,000	66,000
備品費	1,282,000	1,250,000	32,000
雑費	499,000	938,000	△ 439,000
<b>管理費</b>	<b>28,676,000</b>	<b>28,014,000</b>	<b>662,000</b>
役員等報酬	1,802,000	1,848,000	△ 46,000
給料	7,748,000	7,374,000	374,000
手当	4,287,000	3,967,000	320,000
退職給付費用	705,000	280,000	425,000
賃金	899,000	1,018,000	△ 119,000
福利厚生費	1,940,000	1,931,000	9,000
会議費	10,000	10,000	0
旅費交通費	105,000	105,000	0
通信運搬費	488,000	488,000	0
消耗品費	900,000	900,000	0
修繕費	50,000	50,000	0
印刷製本費	100,000	100,000	0
燃料費	360,000	360,000	0
光熱水費	1,756,000	1,756,000	0
賃借料	1,056,000	1,239,000	△ 183,000
手数料	382,000	382,000	0
租税公課	4,233,000	4,228,000	5,000
支払負担金	193,000	193,000	0
賞与引当金繰入額	768,000	711,000	57,000
委託料	460,000	640,000	△ 180,000
保険料	334,000	334,000	0
備品費	100,000	100,000	0
<b>経常費用計</b>	<b>511,616,000</b>	<b>527,778,000</b>	<b>△ 16,162,000</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 1,813,000</b>	<b>△ 1,913,000</b>	<b>100,000</b>
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,813,000	△ 1,913,000	100,000
一般正味財産期首残高	196,679,964	195,051,329	1,628,635
一般正味財産期末残高	194,866,964	193,138,329	1,728,635
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
受取補助金等			
一般正味財産への振替額	22,706,000	22,706,000	0
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>△ 22,706,000</b>	<b>△ 22,706,000</b>	<b>0</b>
指定正味財産期首残高	233,983,188	256,689,423	△ 22,706,235
指定正味財産期末残高	211,277,188	233,983,423	△ 22,706,235
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>406,144,152</b>	<b>427,121,752</b>	<b>△ 20,977,600</b>





資金調達及び設備投資の見込みについて

1 資金調達の見込みについて

借入れの予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業番号	借入先	金額		使 途	
	該当なし				

当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入先等を記載する。

2 設備投資の見込みについて

設備投資の予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の予定額		資金調達方法又は取得資金の使途	
	該当なし				

当期中における重要な設備投資(除却又は売却を含む。)の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容を記載する。